		専門学校	│ 開講年度 令和02年度 (2	(U2U年度)	授業科目 第	新エネルギー特論			
科目基礎	計報				,				
科目番号		0039		科目区分	専門 / 選択	1			
授業形態		講義		単位の種別と単位	立数 学修単位: 2	2			
開設学科		先端融合	開発専攻	対象学年	専2				
開設期		前期		週時間数	2				
教科書/教	材	各講師力	「用意した資料を使用						
担当教員		飯田 民	失,石丸 和博,所 哲郎,冨田 睦雄,羽渕 仁原	恵,柴田 欣秀,和田	清				
到達目標	Ē								
最先端の知	1識に触れる	ることで、現	環境問題への興味を深め、新エネルギー	に関する技術全般(こわたる幅広い知識	戦を身につける。			
ルーブリ	Jック								
			理想的な到達レベルの目安標準的な到達レベルの目安			未到達レベルの目安			
評価項目1			原子力発電について、8割以上理解 できている。	原子力発電につい できている。	いて、6割以上理解	原子力発電について、理解できて いない。			
評価項目2			各種新エネルギーの発電方式とパワーエレクトロニクスを用いた系統連系について、8割以上理解できている。	各種新エネルギー ワーエレクトロニ 統連系について、 ている。	-の発電方式とパニクスを用いた系 6割以上理解でき	各種新エネルギーの発電方式とパワーエレクトロニクスを用いた系統連系について、理解できていない。			
評価項目3			新エネルギーの出力変動の課題と 自動制御を用いた解決法について 、8割以上理解できている。	新エネルギーの出 自動制御を用いた 、6割以上理解で	上解決法について	新エネルギーの出力変動の課題と 自動制御を用いた解決法について 、理解できていない。			
評価項目4			地域主体の再生可能エネルギーに ついて、8割以上理解できている。	地域主体の再生可 ついて、6割以上	『能エネルギーに 理解できている。	地域主体の再生可能エネルギーに ついて、理解できていない。			
評価項目5			燃料電池について、8割以上理解できている。	きている。	て、6割以上理解で	燃料電池について、理解できてい ない。			
評価項目6			キャパシターの開発や蓄電技術について、8割以上理解できている。	 	理解できている。	キャパシターの開発や蓄電技術について、理解できていない。			
評価項目7			熱電変換素子について、8割以上理解できている。	解できている。		ていない。			
評価項目8			太陽電池について、8割以上理解できている。	太陽電池について きている。	こ、6割以上理解で	太陽電池について、理解できてい ない。			
学科の到]達目標耳	頁目との関	月孫						
概要		③新エイ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	新エネルギーの発電方式とパワーエレクトロニクスを用いた系統連系について ネルギーの出力変動の課題と自動制御を用いた解決法について 主体の再生可能エネルギーについて 電池について パシターの開発や蓄電技術について 変換素子について 電池について の話を聞くことができる機会なので、授業においては積極的に質問し、理解を深めることが望ましい。レポート 提出すること。また授業で学んだ手法を、今後の研究等で利用してくれることを期待している。						
授業の進め 	0万・万法	英語導力	、計画: なし						
注意点 ********)課題・レポートの評価点を合計し、その	ル侍点挙(%)に。	よつ(成績評価を行	17。			
授業計画	1	T _m	155 114 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		\B → 1				
		週	授業内容		週ごとの到達目標 新エネルギーとは何かについて理解する				
前期		1週	新エネルギー特論ガイダンス [飯田(E)		<u>新エネルキーとは(</u> 原子力発電につい ⁻	·			
	1stQ 2ndQ	2週	原子力発電について [柴田(E)] 高エネルギー放射性廃棄物の地層処分			C 珪胜 9 る 生廃棄物の地層処分に関する意見テ			
		3週	高エイルキー放射性廃棄物の地層処分 イスカッション [柴田(E)]	に関する息兄子 同エネルギー放射に イスカッションを行					
		4週	各種新エネルギーの発電方式とパワー: スを用いた系統連系について [冨田(E)	エレクトロニク 各種新エネルギーの スを用いた系統連		D発電方式とパワーエレクトロニク 系について理解する			
		5週	新エネルギーの出力変動の課題と自動 決法 [冨田(E)]	制御を用いた解 新エネルギーの出力 決法について理解す		り変動の課題と自動制御を用いた解 する			
		6週	地域主体の再生可能エネルギー概論(I) [和田(C)]	地域主体の再生可能	能エネルギーについて理解する			
		7週	地域主体の再生可能エネルギー概論(II) [和田(C)]	地域主体の再生可能エネルギーについて理解する				
		8週	燃料電池概論(II) [石丸(M)]		燃料電池について理解する				
		9週	燃料電池概論(I) [石丸(M)]		燃料電池について理解する				
		10週	電力送電に使われる新しい絶縁材料と (E)]		電力送電に使われる新しい絶縁材料と評価技術について理解する				
		11週	キャパシターの開発や蓄電技術につい	(C[f) (E)]	エネルギー蓄積素子であるキャパシターの開発について理解し、エネルギーの蓄電技術について理解する				
		12週	熱電変換素子の基礎 [羽渕(E)]		熱電変換素子の基礎について理解する				
		13週	熱電変換素子の基礎 [羽渕(E)]		熱電変換素子の基礎について理解する				
		14週	太陽電池概論(I)[飯田(E)]		太陽光発電について理解する				
		15週	太陽電池概論(II)、新エネルギーの* とめ [飯田(E)] 	今後の展望とま	太陽光発電について理解する、新エネルギーについす 自分の意見を述べることができる				
		16週							

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標												
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週					
評価割合												
			課題・レポート		合計							
総合評価割合			100		100							
合計得点			100		100							